

スタジオから

今回は、みやこハーバーラジオの新人パーソナリティを紹介します。早速質問してみましょう！

Q. 自己紹介をお願いします。

A. 宮古市出身の金澤葉優です（写真左）。

Q. 入社のおかげとこれからの抱負を！

A. 以前から放送の仕事に興味がありました。ゲスト出演をきっかけにみやこハーバーラジオを詳しく知り、入社したいと思いました。皆が元気になる放送ができるようになりたいです。

Q. 自己紹介をお願いします。

A. 岩泉町出身の村上舞です（写真右）。

Q. 入社のおかげとこれからの抱負を！

A. 母親がよくラジオを聴いていて、小さい頃から日常の一部でした。“あなたのとなりに”のキャッチコピーのように、親しみやすく楽し

い時間を届けられる放送や番組づくりができるようになりたいです。

新パーソナリティの2人とみやこハーバーラジオを、これからもよろしくお願いいたします！



新パーソナリティを迎え、さらにパワーアップ！

- 「みやこハーバーラジオ」放送中！ FMラジオ【82.6MHz】
- インターネットの「リスラジ(ListenRadio)」やサイマルラジオでもお聴きいただけます。
- お便り・ファクス・メールお待ちしております
〒027-0076 柴町4番地 三陸鉄道本社1階
みやこハーバーラジオ宛て
FAX77-3936 ☎826@miyakofm.com
- 問い合わせ 宮古エフエム放送（☎77-3399）

山峡に生きた歌人 西塔幸子～草花の歌～

歌人・西塔幸子に関するミニ企画展を開催します。

■期間 3月1日(金)～31日(日)午前9時～午後5時

■場所 北上山地民俗資料館1階ロビー

■内容 西塔幸子の資料、草花などを詠んだ歌、歌碑写真、関連図書などを展示

■入館料 ミニ企画展のみ無料

■問い合わせ 川井生涯学習センター（☎76-2167）



歌人・西塔幸子に思いを馳せてみませんか

俳句に親しむ

季題「クロッカス」寒明け

さいとう白沙 選

【特選】

クロッカス攫われてより十三年

加藤信子

評|| 巨大津波のあの日から十三年。省略の効

いた詠み方に力量を感じる。

背伸びする大煙突や寒明け

中村 薫

評|| 見たままでなく、寒明けの気持ちが残すところなく表現されている。大煙突との取り合わせが斬新。

【入選】

クロッカス君は光が好きなのね

小野寺美智子

ふと見れば紫色のクロッカス

駒井和子

窓際の日だまり猫とクロッカス

佐々木勝幸

クロッカスやつと一輪咲きにけり

去石雄喜

寒明けの陽ざしの中にミシン踏む

中村 薫子

今日もまた「健康笑い」寒明け

長洞良枝

寒明けやクッキー焼いて孫来たる

濱田 勉

寒明けやうみねこ丸の揚揚と

松崎光子

◆次の季題「風光る」「桜餅」※3月5日必着
◆応募は一人3句までです。◆いただいた句を添削することがあります。◆はがきまたは封書で、句のほか住所、氏名、ふりがな、電話番号を書いて、〒027-8501（住所不要）宮古市役所「広報みやこ」係へ応募してください。◆今回の投稿者は29人でした。ありがとうございました。

【選者より】○季題は一句に一つが基本です。表記は口語・文語どちらでも。○住所、氏名、電話番号を書いてください。○小中高生の作品歓迎。◇選者詠「軒先に風を集めて鱗干す 白沙」

ミュージアム収蔵資料の紹介「キノコ形土製品」

市教育委員会文化課 編

縄文時代の遺跡からは、粘土で作られたさまざまな形の土器や土製品が出土します。今回は、その中でも謎が多いと言われているキノコ形土製品を紹介します。

崎山貝塚縄文の森ミュージアムでは、崎山貝塚から出土したキノコ形土製品を2点展示しています。崎山貝塚以外の遺跡からも出土していますが、数は少なく珍しいものです。なぜ作られたのかははっきりしていませんが、理由の1つとしてキノコ採取の見本ではないかと言われています。

縄文人は、自然豊かな森の中で、ドングリやクリなどの木の実はもちろんのこと、キノコも採取していたと考えられています。食べられるキノコをきちんと見分けるため、キノコ形土製品を作って知識を共有していたのかもしれない。

キノコ形土製品の使用目的は他にも、子どものおもちゃ、お祭りの儀式の道具など、さまざまな説がありま

す。もしかしたらキノコのように見えますが、実は別な物がモデルで、意外な使い方をしていたかもしれません。皆さんには何に見えて、縄文人がどのように使っていたと思いますか？



ミュージアムで展示されている
崎山貝塚出土のキノコ形土製品



キノコ形土製品の美測図
(上から上面・側面・裏面)

市長のひとり言

厳しかった1月、2月。市民文化会館で行われた2つの舞台が、私たちの心を温めてくれました。

1つは、1月28日公演の「劇団ゆう」によるミュージカル「アラジンとランプの魔人」です。劇団ゆうは、滝沢市を拠点に活動する団体です。東日本大震災の被災地の「心の復興」を目的に、素敵な作品を継続して届けてくれています。今回は、市内の子どもたちも演者として参加。可愛らしいダンスを披露してくれました。歌あり、アクロバットありの演目に、観客から惜しみない拍手が贈られました。劇団ゆうの皆様、公演にご尽力いただいた皆様、ありがとうございます。

もう1つは、2月3日の「みやこ市民劇ファクトリー」第4回公演「猫よりも壺〜朝日のぼる街・最終章〜」です。「親子の絆」や「人との繋がり」をテーマに老人ホームで繰り広げられる、世代を超えた人々の交流を描いたお話でした。母娘が涙を流しながら本音で語り合うシーンは、私ももらい泣きしてしまいました。公演を重ねるごとに、演技はもちろん、ストーリーや演出も本格的になってきた、みやこ市民劇ファクトリーの皆様。次回作も、乞うご期待！です。



劇団ゆうの華やかなステージ(写真左)と迫真の演技で魅せたみやこ市民劇ファクトリー公演

例年より雪は少なかったものの、寒さが

〔広告〕

大いなる開拓人生をヒロセ電機とともに。



HRS 東北ヒロセ電機株式会社

本社・工場／岩手県宮古市赤前第二地割21番地2

〔広告〕

広報みやこでは、掲載を希望する広告を随時募集中です。詳しくは市ホームページ (☒<https://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/koho/kohomiyakokoukokubosyuu.html>) をご覧ください。



■規格 縦45ミリ×横81ミリ

■問い合わせ 市企画課広報係 (市役所4階、☎68-9065)